

地域障害者職業センターにおける事業主支援

障害のある方の力を活かせる組織・職場づくりをサポート！

- 多様な価値観をもった人材の活用は、企業を変化させ、企業の活性化につながります。
- 地域障害者職業センターでは、事業主の皆様の雇用管理に関するニーズ・課題に応じた支援を行っています。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター

職業リハビリテーション部指導課 鈴木 秀一

企業を取り巻く状況

法定雇用率の達成

障害者差別の禁止

多様な人材の確保

精神障害者の
雇用義務化

合理的配慮の
提供義務

コストバランス

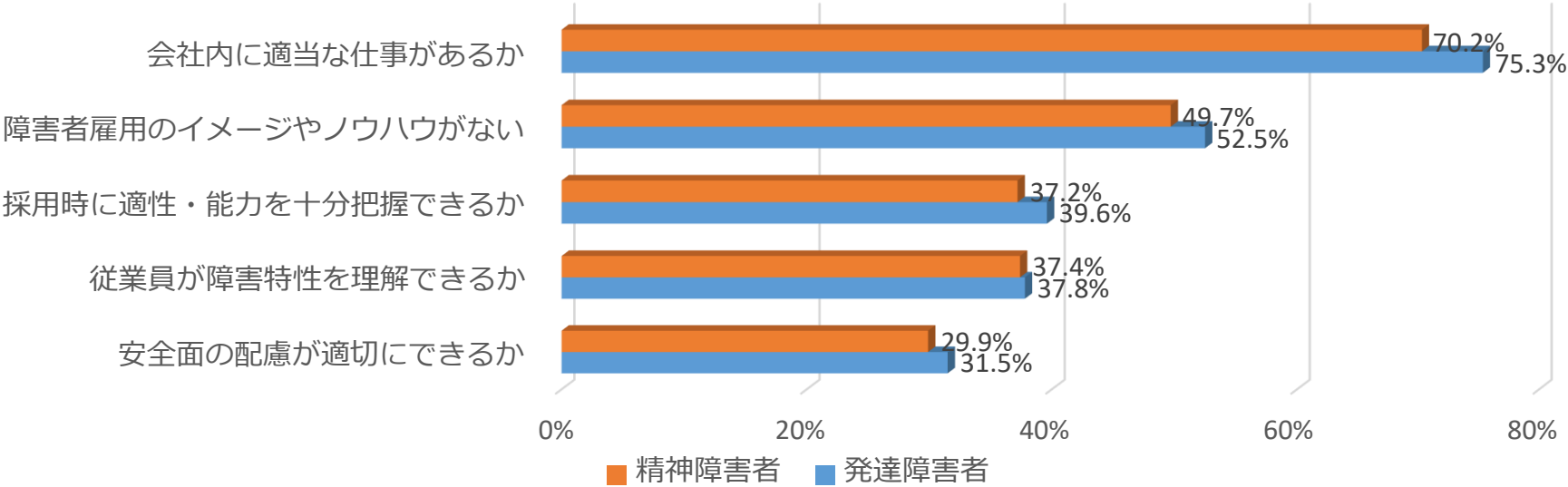
負担感

リスクマネジメント

不安感



企業が直面している課題



障害者職業カウンセラーが各企業の課題解決をサポート！

障害者**雇用戦略**立案への助言
(トータルプランニング)



職務設定、配置



社内研修の企画&実施



採用への準備&職場実習、面接対策

合理的配慮の提供への助言



職場への定着

(ジョブコーチによる支援)

& 復帰

(メンタル不調の休職者対象
のリワーク支援)



➤ 障害者職業カウンセラーによるサポートの特徴

- ・ **新規の雇入れ**から、**採用後の定着**、**職場復帰**に至るまで様々な「雇用管理」に関する相談に対応
- ・ **全国組織のネットワーク**を活用してサポート
(各地域で活躍する特定分野の専門家とも連携)
- ・ **企業在籍型ジョブコーチ**の養成も実施
- ・ 全国で年間**18,000事業所**以上の相談実績

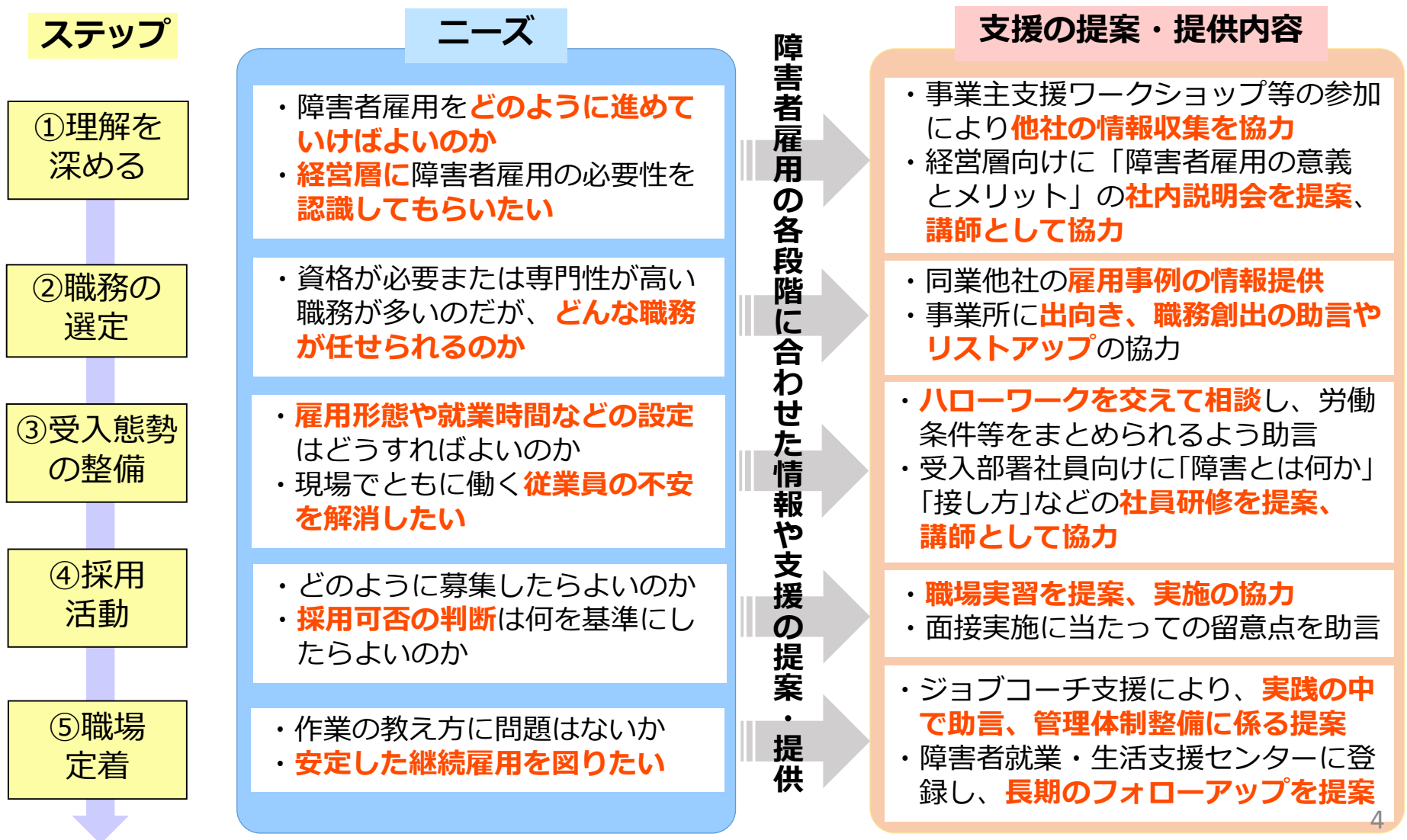


相談・支援ツール

企業のニーズに応じた事業主支援の事例

事業所：医療業（総合病院）、500人

状況：これまで身体障害者は数名雇用してきたが、雇用率を満たしておらず、何とか雇用率を達成したい。



企業内のサポート力の向上、ラインケアの充実に関する支援事例

（企業在籍型ジョブコーチと連携した支援）



事業所：情報通信業、150人
身体障害者を雇用した経験はあるが、精神障害者の雇用は初めて。
本人は感情の起伏が大きく勤務不安定で、周囲との不和が生じた時期がある。
適切な雇用管理の方法を知りたい。



精神障害者、事務作業に従事
体調面や不安に感じることも相談したい。

ジョブコーチ支援を6か月実施



- ・ **コンディションチェックシート活用**を提案し、**相談のコツ**を助言
- ・ 作業の安定のため「**見える化**」の手法を解説し、**業務日誌を導入**
- ・ 継続できる形での**定期面談を開始**



本人の体調や考え方の傾向を職場内で共有。特性を踏まえた関わりが増加。



- ・ 作業場面の観察や面談同席により、**本人の特性や傾向を整理**し、**ふり返し**を実施
- ・ 活用する**チェックシートや日誌のカスタマイズ**の相談



以前よりも自分の状態の客観視が可能に。



企業在籍型ジョブコーチへのノウハウ移転

発達障害を併せ持つ休職者に対するリワーク支援の事例



ご本人：事務職

うつ病、ADHD。過集中もあり仕事のペースをうまく掴めずストレスに。うつ病になり休職。



事業所：電子機器メーカー



周囲と仕事の進め方で折り合わずストレスに。どうすれば安定して仕事ができるのか？



適切な業務の割り当てや勤務の設定、復職後の配慮事項がわからない

リワーク支援

- ・ **ストレス対処法**の理解と実践のための支援
- ・ 過集中を改善し、安定した勤務に向けたエネルギー配分について**活動記録表を活用**
- ・ スケジュール管理のための**業務管理表等の活用**に係る支援

- ・ 希望や病状・障害特性を踏まえた働き方や配慮事項の調整
- ・ 体調確認や声をかけるタイミングなどに関する助言

復
職

ご本人：

職場の理解が得られスケジュール管理と気持ちの負担が軽減。過集中にならないようペース配分を実践中

事業所：

勤務時間を調整、職務負担を軽減、定期面談により業務進捗や体調面を確認

特性に応じた復職ポイント

ジョブコーチ支援で雇用管理等を集中支援

主治医との連携：支援の報告に基づき服薬調整等の医療的ケアを依頼